

事務事業名		「本物の出会い栃木」観光キャンペーン参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					担当係	観光立市推進係	担当課長名	小野 勉	
	施策	1 ひとを集める観光戦略の展開					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 広域的な観光事業の展開					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10731	一般	7	1	3	やすらぎの栃木路キャンペーン参画事業					
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	H10年度～	年度	根拠法令 条例等	なし			
事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業			
	実施方法		直営			事業分類		参画事業			
	リーディングプロジェクト		該当			市長マニフェスト		5-4			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会の主催する会議、イベント、キャンペーンに参加している。 ※「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会とは、栃木県への観光誘客の増大と定着及び観光産業の振興を図ることを目的として、県、市町村、観光関連団体等で構成している団体である。 平成26年3月25日より、「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会から「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会に名称変更	(市の活動)協議会に負担金250千円支出、担当者会議(5、6、7、8、9、10、12、3月)、観光キャンペーン(9、2、3月)、観光キャラバン(2、3月)、栃木県観光情報説明会(10月14日)への参加(協議会の活動)会議の開催、広報宣伝、イベント開催、パンフレット作成 平成26年4月～6月の期間が、JR東日本重点販売地域に指定されているので、それに向けて会議回数等が増加した。					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
会議への出席回数	回	11	12	10	10	10
事務局との打合せ回数	回	4	2	3	3	3
キャンペーン等への参画回数	回	7	5	5	5	5

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

関東地方及び近県住民 (総務省:1/1住基台帳) 「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	関東地方と近県の人口	万人	4,935	4,933			

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

栃木県への観光客の増加を図る。 佐野市への観光客の増加を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	観光客入込数	千人	8,576	8,623	9,000	9,500	10,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

国内に居住する人に、本市へ来訪してもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	広域での連携事業数	事業	10	11	12	14	14

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		250	250	250		250		250		250
	事業費計(A)	千円		250	250	250		250		250		250
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	250	負担金	250	負担金	250	負担金	250	負担金	250
人件費	人	6		3		3		3		3		
のへ業務時間	時間	2,000		500		500		500		500		
人件費計(B)	千円	7,782		1,971		1,971		1,971		1,971		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,032		2,221		2,221		2,221		2,221		

事務事業名	「本物の出会い栃木」観光キャンペーン参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	------------------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成10年度、「やすらぎの栃木路共同宣伝事業」として、栃木県が中心となり全国キャンペーンを展開した。それを引き継ぐ形で現在も「やすらぎの栃木路共同宣伝協議会」へ参画している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国の観光立国宣言により、県及び市の観光戦略が大きく変化し、各市でも観光誘客事業に重点を置き施策を行っている。 平成26年4月～6月の期間が、JR東日本重点販売地域に指定される。 平成27年4月～6月の期間が、JR東日本重点販売地域に指定される。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	広域連携観光を推進していくために参画している
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	偏りなく佐野市全体をPRする必要があるために、市が行うのが妥当である
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象・意図とも妥当である
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	対象エリアが広域にわたるため、戦略的に事業を推進することで成果の向上が見込める
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	各イベントへは、最少人数で対応している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は不特定多数であるため
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 栃木県全体で行っている事業であり、各市の意向と県の方針による			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			